

PPP/PFI 手法簡易定量評価調書

	従来型手法 (公共施設等の管理者等が 自ら整備等を行う手法)	採用手法 (候補となる PPP/PFI 手法)
整備等費用 (運営等を除く。)	2,581,700(千円)	2,581,700(千円)
<算出根拠>	本事業予算の設計金額	施設を安全かつ安定的に稼働させるため、設計の自由度が限定され、かつ対応できる業者も限られることから、コスト縮減効果がなく、同左と想定。
運営等費用	—	—
<算出根拠>	—	—
利用料金収入	—	—
<算出根拠>	—	—
資金調達費用	332,000(千円)	332,000(千円)
<算出根拠>	想定される起債充当率(90%)、利率、償還方法をもとに算出	同左
調査等費用	—	60,000(千円)
<算出根拠>	—	導入可能性調査費用及びその後の業務委託必要の想定
税金	—	—
<算出根拠>	—	—
税引後損益	—	—
<算出根拠>	—	—
合計	2,913,700(千円)	2,973,700(千円)
合計(現在価値)	—	—
財政支出削減率		VFM はマイナス(一)
その他 (前提条件等)		